

読み聞かせボランティアが選んだ

一度は読みたい絵本



梅雨の時期になりました。シトシトと降る雨をみながら、家の中でのんびり過ごし、思いっきり体を動かせる夏を待ちましょう。そんなおウチ時間のおともにぜひ 絵本を読んでみてください。

○【ミミズのふしぎ】

皆越ようせい 写真/文 ポプラ社

コンクリートとアスファルトの都市でも雨が降った後の朝には、道路にミミズが出てきている。どうしてこんな形の生き物がと思う。遥か12億年前から似た形でいたミミズ。ミミズは土を豊かにして命を育ててくれる。

《読み聞かせボランティアあいあい》

《読み聞かせボランティアおおきな木》

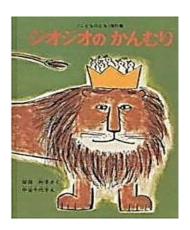


まずは表紙のおにぎりの絵にくぎづけです。海苔のツヤまで本物そっくり。さあ、手に水つけて、塩つけて、ご飯は熱いから気をつけて。この絵本をみたらきっとおにぎりが作りたくなりますよ。そしてほおばりたくなりますよ。



○【ジオジオのかんむり】 岸田衿子作/絵 福音館書店

王様ライオン、ジオジオは年をとってひとりぼっちになってしまいました。けれども鳥がジオジオのかんむりに巣を作りました。鳥達の声を聞いて、ジオジオはとてもうれしそうです。 《読み聞かせボランティアだるまさんの会》



ぜんぶ、大師図書館に所蔵のある絵本です。ぜひご覧になってください。貸出中でしたらごめんなさいね。予約することもできますよ。大師図書館カウンターにお声をかけてください。

プラザ大師 044-266-3550